

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境			0.40					3.4
1 音環境		4.0	0.15	3.4	1.00			3.4
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		5.0	0.50	3.8	0.50			
1 開口部遮音性能	遮音等級 T-2を採用	5.0	1.00	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能				3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	住居床仕上(ユニットフロア)はLL-45の仕様を採用			4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20			
1.3 吸音								
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00			3.0
2.1 室温制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
1 室温		-	-	-	-			
2 外皮性能		3.0	1.00	3.0	1.00			
3 ゾーン別制御性								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境		2.0	0.25	4.0	1.00			3.7
3.1 昼光利用		1.8	0.30	4.0	0.50			
1 昼光率	住居部: 2.9%	1.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口				3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		1.0	0.30	4.0	0.50			
1 昼光制御	庇とカーテンにて昼光制御している	1.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		3.0	0.25	3.6	1.00			3.5
4.1 発生源対策		3.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	建築材料はほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用している	3.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策								
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能				3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御								
Q2 サービス性能			0.30					3.1
1 機能性		3.0	0.40	3.6	1.00			3.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	4.0	0.60			
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応	100Mbitクラスのプロードバンドが利用可能			4.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40			
1 広さ感・景観				3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30					3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30					
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3相当	5.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	3.0	0.20	-	-	
				3.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50	
1 階高のゆとり			-	-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.96	4.4	0.50	-	4.4
集合住宅以外の評価(3a,3b)			-	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)			DCモーター換気扇の採用及びLED照明等の採用によりBEIが0.96になった。	4.4	1.00	-	-
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			節水コマなどに加えて、節水型便器を使用している	4.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体+軽鉄+、仕上材のデティールを採用している	4.0	0.20	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	1.00	-	-	
3 冷媒			-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率=69%	4.2	0.33	-	4.2
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			防犯に適した外灯を設置し安全・安心に配慮し、広告物照明を行っていない	5.0	0.70	-	-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	